

犬の足跡、炭疽病※、ラージパッチなどの芝生の治療剤

ポリオキシシン Z[®] ドライフロアブル

登録番号 第 19684 号

成分：ポリオキシシンD亜鉛塩…11.3%
(ポリオキシシンDとして100,000PsDu/g)
界面活性剤、無機塩等…88.7%
(ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル
(1種407) 2.0%
性状：褐色水性和性微粒

ポリオキシシン Z[®] 水和剤

登録番号 第 15504 号

成分：ポリオキシシンD亜鉛塩…2.25%
(ポリオキシシンDとして20,000PsDu/g)
鉱物質微粉、界面活性剤等…97.75%
性状：淡褐色水性和性粉末 63 μm以下

※はドライフロアブルのみの登録

作用性が違う

抵抗性を回避。ローテーション剤として適しています。



- ・独自の作用性「キチン合成阻害」のためローテーション剤として適しています。
 - ・優れた予防及び治療効果を発揮します。特にリゾクトニア病害に優れた効果。
 - ・土壌微生物の培養によって得られる天然由来の殺菌剤です。
- 環境に対する安全性が高く、土壌中の微生物に影響を与えることが無く土質を変化させません。

●試験成績 フェアリーリング病

ヒメコウライシバ H1 東日本グリーン研究所

供試薬剤	薬剤量 g.cc/ m ²	希釈 倍数	防除価	緑色化
ポリオキシシン Z 水和剤	40	250	100	+
A 社水和剤	40	250	95	±
C 社ゾル	40	250	50	
D 社水和剤	16.7	600	20	+
無 散 布				

病原菌：ニセショウロ 区制：1区1m² 調査：9/30 散布：8/30、9/9

ペンクロスベント H8 中国ゴルフ連盟グリーン研究所

供試薬剤	薬剤量 g.cc/ m ²	希釈 倍数	防除価	緑色化
ポリオキシシン Z 水和剤	40	250	100	—
A 社水和剤	20	500	56	—
B 社水和剤	8.4	600	67	—
無 散 布				

病原菌：ホコリタケ 区制：1区10m² 調査：7/3 散布：6/19

●適用病害と使用方法

ポリオキシン[®] Z ドライフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ポリオキシンを 含む農薬の 総使用回数	
日本芝	葉腐病（ラージパッチ）	1,000	発病初期	6回以内	1㎡当り0.25～0.5L散布	6回以内	
		2,000			1㎡当り1L散布		
	ヘルミントスポリウム葉枯病	1,000			1㎡当り0.25～0.5L散布		
		2,000			1㎡当り1L散布		
	カーブラリア葉枯病	1,000			1㎡当り0.25～0.5L散布		
		2,000			1㎡当り1L散布		
	疑似葉腐病(春はげ症)	1,000	休眠期前		1㎡当り0.25～0.5L散布		
		2,000			1㎡当り1L散布		
	疑似葉腐病(象の足跡)	1,000			1㎡当り0.5L散布		
		2,000			1㎡当り1L散布		
	フェアリーリング病	250			1㎡当り2L散布		
		500			1㎡当り0.5～1L散布		
西洋芝 (ベントグラス)	葉腐病（ブラウンパッチ）	1,000			発病初期		1㎡当り0.25～0.5L散布
		2,000					1㎡当り1L散布
	ヘルミントスポリウム葉枯病	1,000	1㎡当り0.25～0.5L散布				
		2,000	1㎡当り1L散布				
	カーブラリア葉枯病	1,000	1㎡当り0.25～0.5L散布				
		2,000	1㎡当り1L散布				
	炭疽病	500	1㎡当り0.25L散布				
		250	1㎡当り2L散布				
	フェアリーリング病	250	1㎡当り2L散布				
		500	1㎡当り0.5～1L散布				

⚠ 効果・薬害等の注意

- 疑似葉腐病 (春はげ症)、葉腐病 (ラージパッチ) の多発が予想される場合には、散布回数を増やすことが望ましい。
- ベントグラスに対し高濃度 (250 倍) で使用する場合、高温時の散布では葉が黄化することがあるので注意してください。

ポリオキシン[®] Z 水和剤

作物名		適用病害名	希釈倍数（倍）	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ポリオキシンを含む農薬の総使用回数
芝		葉腐病 （ブラウンパッチ） （ラージパッチ）	500～ 1,000	発病初期	6回以内	1㎡当り 1L 散布	6回以内
		ヘルミントスポリウム葉枯病 カーブラリア葉枯病	500				
		疑似葉腐病 （春はげ症）		休眠期前 及び 萌芽前			
芝	日本芝	フェアリーリング病	250	発病初期		1㎡当り 10L 散布	
	ベントグラス						

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ってください。
- 散布液調整後はできるだけ速やかに散布し、使い切るようにしてください。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

取り扱い店



〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-7-1 (興和一橋ビル)
TEL : 03-3296-8021 FAX : 03-3296-8022